

家畜衛生だより

R6-27 令和6年11月 発行

置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444
TEL 0238-43-3217
FAX 0238-43-5249

国内で初めてランピースキン病を確認

11月6日、福岡県下の乳用牛飼養農場において、国内では初めてとなるランピースキン病の発生が確認されました。

ランピースキン病とは

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。



1. 疑わしい疾病が発生した際の早期発見・早期通報

飼養している牛を定期的に観察し、疑わしい症状がみられた場合には、かかりつけの獣医師又は家畜保健衛生所にご連絡ください。

2. 牛を移動する際の臨床検査の徹底

出荷等により農場外へ移動させる場合は、健康状態の確認を徹底してください。

3. 農場への侵入防止・感染拡大防止対策

蚊、サシバエ、ヌカカ等の吸血昆虫の機械的伝播により感染が成立すると考えられていることから、殺虫剤の散布等が有効です。また、注射針等血液等が付着する物品は、1頭ごとに交換又は消毒を実施しましょう。

他の畜産関係施設で使用したものを自農場に持ち込まないようにしましょう。

飼養牛に異常があった場合は家畜保健衛生所に早期通報願います！！

平日の日中 0238-43-3217 夜間・休日 080-1840-0705